

炭焼きの技術・

文化を継承する

現在、炭はキャンプやバーベキューの時に使うものという印象が強いかもしれませんが。しかし、プロパンガスが一般家庭に普及した昭和35(1960)年以前は、炭が普通に使われていました。かつての日南町ではたたら製鉄が盛んに行われており、鉄を溶かすための炭が大量に必要でした。今でも日南町の山の中を歩くと、昔に炭焼きを行った痕跡である小さなすり鉢状の地形がたくさん確認でき、昔は至る所で炭焼きが行われていたことが分かります。

話を少し変えて、「里山」の話をしたいと思います。「里山」とは薪や炭を得るために頻繁に人の手が入っていた山のことであり、単なる広葉樹の森とは別ものです。里山には希少な動植物が多く生息していることから、近年ではその重要性が認識されるようになってきています。これは、人が手を入れることによって守られた動植物が多く存在することを意味しています。このように、昔は薪や炭を得るため

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 84-0070



に広葉樹の森林が利用されており、その結果、良好な状態の里山が広く存在していました。このような人の手が入った里山を残していくため、また、炭焼きの技術や文化を継承していくために、『日南炭焼きクラブ』が発足しました。今年、日南炭焼きクラブにより林業アカデミーの演習林内にある炭窯を補修してもらいました。林業アカデミーでは炭焼きの実習を行っています。これは、若い世代に炭焼きの技術や文化を継承してもらいたいと考えているからです。もし、炭焼きに興味がある方は、日南炭焼きクラブや林業アカデミーにお声掛け頂ければ幸いです。

獣害対策
アップデート

第17回

土中の暴れん坊②

日野郡鳥獣被害対策協議会

川野 風花

【問合せ】 72-1399

今回はモグラ捕獲のコツについてお話しします。

モグラ捕獲器には筒式、挟み式、落とし穴式などさまざまな形のものがありますが、どの捕獲機もモグラの道に設置します。そのため、モグラ捕獲において重要なのは、モグラがよく通る道を見つけておくことです。では、モグラのよく通る道とは？実は、モグラが作る道には次のような種類があります。

① 幹道

単に通じる道。確実に通る道だが、地下深い場所にある。

② 生活道

エサ場を探すため掘られる幹道から派生した道。ほぼ毎日使用される。

③ 探餌道

エサを探すために生活道から派生した道。基本的に使い捨てで、行き止まりのことが多い。

①の幹道は深く捕獲機の設置が困難で、③の探餌道は使い捨ての場合がほとんどです。捕獲器を設置すべき道は、②の生活道です。

では、この生活道をどうやって探せばいいのでしょうか？簡単な見つけ方をご紹介します。まずは、モグラの道が集まっている所を見つけてみます。道を露出させるように少し削りながら平坦にならし、道に軽く砂を詰めて道を一旦つぶします。翌日以降、道が復活しているかを確認します。3回連続して道が復活した場合は確実に生活道です。1週間以上待っても道がつかれたままの場合は、場所を変えてみてください。

生活道を見つければいい、よいよ捕獲器の設置です。次回は、モグラの捕獲器の種類と設置方法についてお話ししたいと思います。

